

# 町の考えを問う

## 一般質問の要旨

ここが聞きたい！

12月定例会の一般質問は、12月9日、10日の両日行われました。9人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。

### 12月9日

#### 1. 織田 昭雄 議員

- ①令和2年度町長方針について
- ②旧小川別荘跡地のソーラー発電所建設計画について
- ③生活圏エリア内の道路や河川周辺の樹木等の整備促進について

#### 2. 川合 弘人 議員

- ①下水道事業の今後は。公共施設としての位置付け、公益性をどう考えているか
- ②台風19号の豪雨を受けて、災害への備えは
- ③人口減少対策の積極的な推進を「移住・定住推進係」の組織化を

#### 3. 小倉 裕子 議員

- ①台風19号から見た課題と今後の対策について
- ②森のオフィスの検証と森のLivingについて

#### 4. 三井 新成 議員

- ①令和2年度町長方針 産業振興の強化について
- ②エコラインの延伸について
- ③令和2年度町長方針 安心安全のまちづくりについて

#### 5. 五味 平一 議員

- ①災害の考え方について
- ②町長の災害対策対応について
- ③富士見町の防災・減災及び災害に強いまちづくりについて

### 12月10日

#### 6. 名取 武一 議員

- ①自主防災会のスキルアップについて
- ②「富士見パノラマリゾート」について
- ③旧小川別荘のソーラー計画について
- ④田端地区の太陽光発電事業について

#### 7. 島 正孝 議員

- ①町職員の健康管理の現状は
- ②子供の貧困対策についての取り組みは
- ③幼児、児童、生徒の読書離れが進んでいるが、その対策は

#### 8. 名取 久仁春 議員

- ①森のオフィスの運営・管理について
- ②庁内組織力の強化について

#### 9. 牛山 基樹 議員

- ①富士見町からの広報、町内外への情報発信の実情と課題についてどう評価しているのか
- ②エネルギー産業の変革を見据えたSDGsのローカル化、町に活力を生む新産業の富士見モデルについて考えはあるか
- ③成果を出すシティプロモーションの推進強化、2年目のゴールについてどう考えているか

※質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。  
※一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを編集しています。



## 別荘跡地を買い戻す つもりはあるか。

**答** 今の段階では  
答えられない。



織田 昭雄

**質問** ソーラ発電所計画について  
業者からの説明は。

**町長** 旧小川別荘跡地のソーラ発電  
所建設計画については一昨年の3月

## 自然流下への改良は

**答** 小手沢などを予定



川合 弘人

**質問** 下水道事業の今後は

マンホールポンプ場を自然下  
方式にする計画はあるか。事業費を  
利用料に上乗せするのか。

**町長** 池袋入り口のマンホールポンプ場  
を計画。小手沢の第3ポンプ場は来年  
度以降、自然流下にする計画で、関係

に話があった。町では環境保全条例  
について説明した。昨年の10月に面  
談し、事業化の要件として森林法適  
用などのほか3つの条件、区の同意、  
雨水等の放流は下流区からの同意を  
得ること、事業承継と撤去費用の積  
み立てを担保するよう伝えた。また、  
今年の10月以降の計画は新しい条例  
が適用される事を伝えた。地元への  
説明が、役員や住民向けに開催され  
た事は承知しているが、その状況等  
結果は現在報告は受けていない。

**質問** 業者が計画を諦めれば旧小川  
別荘跡地を町は買い取るか。

**町長** 地元3区からきちんとした報  
告なり意志というものは一回も聞い

機関と協議している。地下水が多い  
場所です。不明水が発生するためだ。国  
道20号富士見交差点前の第1ポンプ  
場も計画している。事業費は3.5億  
から4億円を予定。事業費の下水道使  
用料の上乗せは考えていない。

**質問** 農集排の統合計画は。

**町長** 農業集落排水は、既に乙事地  
区、先達地区を統合した。令和12  
年度までに残りの立沢地区、西久保  
地区の統合を計画している。

**質問** 下水道会計の収支バランスは。

**町長** 起債の償還額が6億円以上は  
令和5年度まで続く。一般会計から  
の繰り入れ金5.1億円の収入を含  
め、3.2億円の利益を計上し、こ  
れを起債償還の財源として充当して

ていない。住民の皆さんの民意と言  
うものは勿論尊重するのは当然の事  
であるが、ただ、反対する人が多い  
から、じゃあやめましょうという簡  
単な話ではない。関係法令や条例、  
規則に則ってきちんと審査をして行  
く。それから、購入するかしないか  
については、今の段階ではお答え出  
来ない。ただ、きちんとした使用目  
的があると言う事で  
なければ、そう安い  
買い物ではないので  
慎重な検討が必要。  
その辺については、まだ  
見えていないので明確  
な回答はさける。



いる。借入金の返済のピークは令和  
2年度で、約7億円。5年度まで6  
億円で、以降は減少していく。

**質問** 台風19号の豪雨を受けて

**町長** 初め避難勧告の文言などで教  
訓は。避難指示に切り替える目安は。

**町長** どのような災害リスクがある  
かの情報を告知内容に含めるべきだ  
った。「避難指示」への切り替えの目安  
は災害対策本部長としてたいへん重  
要な課題だと改めて認識している。

**質問** 福祉避難所の開設への対応は。

**町長** 台風19号では、社会福祉協  
会の協力で2施設を開設。一次・二  
次避難所で福祉避難所への避難が必  
要な方の受け入れを行った。避難

**質問** 産業振興センターの方向性は。

**町長** 今年の7月立ち上げたが、ま  
ず何から手を付けるか商工会とも相  
談した。町の中でも、雇用も一番多  
く売上も多い、ものづくりの所から  
始める。もちろん観光や商業、土木、  
建築にも範囲を広げていくし、これ  
からは農業も取り込んで幅広く対応  
していく。商業に対する調査、研究  
も産業振興センターが関わり、色々  
なニーズを拾っていくなかで商業関  
係の課題も幾つか挙げられて来とい  
るのでものづくりに限らず産業全般  
に目を配りながら運営して行く。

生活の中で支障が想定される要配慮  
者を対象とする。町民への周知は状  
況を見ながら判断することになる。

**質問** 人口減少対策で積極策を

**町長** 庁内に特命の「移住・定住推  
進係」を組織化し、推進してはどうか。

**町長** 人口減少対策にしっかりと対  
応できる態勢を整える。係とか課に  
するかは検討の段階だ。



約200軒の汚水をポン  
プアップし、自然流下方  
式が検討されている第3  
マンホールポンプ場

台風19号から見えた課題と今後の対応

答 自助共助の啓蒙及び情報伝達に課題



小倉 裕子

■暴風雨・豪雪時の体制について

町長 自助共助の積極的な啓蒙、避難所の早期開設、自主防災会活動の支援が課題。

質問 防災無線ラジオの全戸配布を。総務課長 今回防災無線スピーカーが聞き取りづらいという声を多く頂いた。まずは来年度、75歳以上(750世帯)の、独居あるいは二人世帯を対象に希望する世帯に戸別受信機を配置し、状況を見ながら追加配置等検討していく。

質問 川や堤などにカメラを設置し、町民に状況がわかるようにするべきでは。総務課長 危険箇所へのカメラ設置の件については十分理解できるため、今後設置に向けて検討していく。

■森のオフィス設置の目的と費用回収の見通し、及び今後の運営方針について

質問 森のLiving設置により、今後更に森のオフィスへの費用負担が増加すると思われるが、回収の見通しは。

町長 今一番重要なのは人口を増やすこと。森のオフィスは人口減対策の主軸で収益性を目指した施設ではないため、経費回収はしない。成果が少ないとはいっていない。当面は発展的に継続していく。今後のランニングコストや利用状況は、今は想定できない。また、利用者で移住した方からの町税や各種料金をどれだけ収めて頂いたかは調べていないし必要性も感じていない。

質問 テレワークという働き方の特性から、移住定住促進施策には向きなのではないか。

町長 重ねて申し上げるが、今一番目指すところは、人口増であり、その主軸はテレワーク事業及び農業施設

策である。また、行政レベルを上げていくことが住民サービスにつながり、人口増にもつながっていくと考えている。

質問 森のオフィスありきではなく、駅周辺の空き店舗等を利用し、コワーキングスペース、交流スペース、移住定住相談窓口を作る考えは。

町長 移住定住相談ができる窓口が少ないということについては、そのように思うところもあるため、今後庁内に専用のチームを立ち上げ、しっかり対応していきたい。



富山県朝日町駅前にある移住定住相談窓口(交流スペースもある)。

新たに指定管理施設道の駅を作る考えは

答 町として新たな借金は考えていない



三井 新成

■産業振興の強化について

質問 商工業用地の見直しは。町長 用途地域の見直しについては、昭和58年に線引され平成7年に見直しさ

れている。現状、町の発展に齟齬が生じている。第2次マスタープランで方針を定めている。町がバランス良く発展していくために、全町に渡つての用途地域の見直しが必要と考えている。農振についても見直しを進める予定であるが、上位法があるため数年は時間がかかる見込みだ。

質問 観光関連施設としての指定管理先の運営状況と今後の展望をどう考えているか。

町長 おつこと亭と葛木宿の施設は、農村活性化事業施設として地域貢献に役立っていると考えている。おつこと亭は年間に4万2千人、葛木宿は30万人の利用がある。意欲的に経営されていると考えている。

質問 新たな集客のための観光施設

を統合、あるいは新設する考えは。

町長 協議会の中では、苦労されていることも承知はしている。富士見町から山梨県にかけての国道20号沿線では、カゴメ工場、サントリー、シャトレーゼ、等の工場と観光施設が併合している圏域が15キロ圏内にある。国内でもまれな地域環境に位置している。今後は、団体向けの施設巡りを兼ねた商品として売り出していくか、と検討している。従つて町としては新たな統合は考えていない。



質問 エコラインの沿線の先に最基盤整備を行う事業に並行して、農業法人による特産品等の販売を考慮

した沿線の整備を考えているか。町長 基盤整備は町で単独にはできないが前向きに考えていく。観光道路としての整備は考えていない。

質問 新たな道の駅として、参考にできる群馬県の川場村にある「川場田園プラザ」に次ぐような施設の建設を、エコラインの延伸とともに整備して、年間の観光客200万人を目指す考えは。また、観光施設で働く方を対象に、サービス業としての特別研修を行えるための補助金制度を設ける考えは。特に観光客に提供する食事について、リピートしていただける食事に特化した研修の考えは。

町長 研修は各事業者で行うべきと考えている。振興センターでも人材育成も行っていく。

**災害被害・ゼロは不可能・安全の先取りは**

**答** 自主防災会の活性化・育成に取り組む



五味 平一

**■町民を災害から守るために**

**質問** 災害の定義とは。  
**町長** いろいろな考え方があがるが、その要因が自然的なものであれ、人的なものであれ、地球や世界に対し

**防災士資格取得に町の支援を**

**答** 前向きに検討したい



名取 武一

**■自主防災会について**

**質問** 自主防災会のスキルアップをどう進めているか。

**町長** 出前講座の実施、防災訓練時の安否確認訓練などを行ってきたが、

て何らかの破壊力が加わって、一瞬にして圧倒的な力で悪い方に状況の変化が起こること。

**質問** 災害対策・人的被害を出さないためには。

**町長** 災害対策については、防災プロジェクト、防災対策部長会議にて対策を全職員に周知し訓練を行う。人的被害を出さないためには、町民一人ひとりが災害を我がごとと捉える自助、自分たちの周囲は自分たちが共同して守る共助の意識作りが必要。自主防災会へのハード的支援を行う。

**質問** 自助・共助・公助の理解と周知徹底は。

今後地区ごとの防災マップの整備や自主防災会初動マニュアルなどの整備を進めたい。

**質問** 役員が毎年変わる防災会があるが、改善を。

**町長** 地域内に防災の課題を解決できる防災リーダーの育成が必要と考えている。

**質問** 防災士資格取得に町の支援を。

**町長** 前向きに検討したい。

**質問** 富士見パノラマリゾートについて考える会がチラシを2回配布した。町として町民にわかるように反論すべきではないか。

**町長** パノラマリゾートについては、平成14、15年の上下分離方式による

**総務課長** 地区防災マップを作成し、自助・共助の必要性を作成の中で話し合い考える過程が重要、15の地区が土砂災害警戒区域内に避難所が設置されている。まず、この15の集落を最優先で地区防災マップと支え合いマップと連携させて作成する。この中で自助・共助が意識出来ればと思っています。各集落で自主的に行う訓練も重要である。自主防災会が災害にあったときにどのような行動を取ったらいいかマニュアルを作る。

**質問** 災害発生時には、まず何を行うのか。

**町長** 災害対策本部長として、町民の安全確保、安否確認、人命救助を

施設の買取の時点から住民懇談会や町議会での議論に十分な理解をいたしながら進めてきた。特定のグループの意見広告についてはあえて反論する必要はないと考えている。

**質問** 観光施設貸付14.5億円、長期貸付金約30億円の返済計画は。

**町長** 今年度からそれぞれ2千万円ずつ繰り入れる。

**質問** 観光施設貸付を70年で返済する、長期貸付金は150年で返済することに、町民が納得できるか。

**町長** パノラマリゾートがあることによる町への経済効果を考えてほしい。雇用もある、また大事な観光拠点であり、なくすわけにはいかない。パノラマの維持継続は町の宿命。

最優先した対策を取る。それには情報の収集と的確な判断と指示が重要。

**質問** 防災力・災害対応力・強化は。

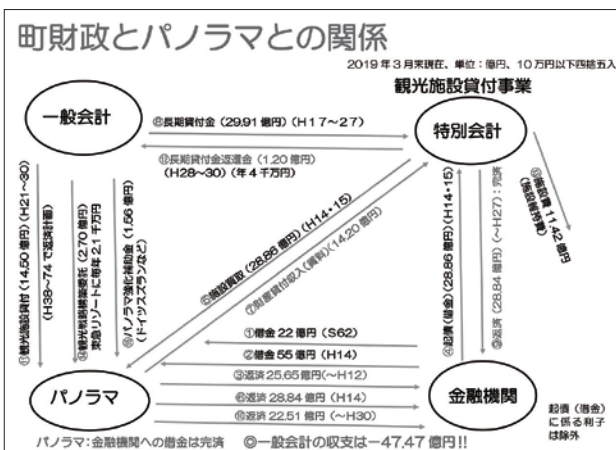
**町長** インフラの強靱化、避難所対応、情報の収集と伝達について行う。

**質問** 令和2年の防災・減災の対策と予算は。

**町長** 緊急防災対策に特別枠を設けるこれは自主防災会の要望や、町民懇談会に寄せられたご意見に対応したい。予算は現在策定中。



知っていますか 171



健康こそ宝

町職員の健康管理は

常に強い関心を持って  
取り組んでいる



島 正孝

町職員の健康管理の現状は

■**質問** 心身共に健康であってこそ職責を全う出来る。町職員の健康管理はどうなっているのか。また、有給休暇の取得は、どの程度か。

町長 職員の健康管理には常に強い関心を持って取り組んでいる。定期健診、その他必要な検査、相談も過不足なく行っている。有給休暇の取得は、年平均9日程度で有効に活用されている。

■**子供の貧困対策についての取り組み**

■**質問** 過日議員研修で、滋賀県野洲市を訪ねた。現象化した子供の貧困の背後には、家族の様々な問題が内在している。表面化した問題だけの対応ではなく、各課が連携して総合的な取り組みが必要である。町内の子供の貧困対策はどうなっているのか。また、町内には「子供の貧困対策推進委員会」が自主的に活動を続けている。行政として、これからのようにコミットして行くのか。

町長 表面に出ない家庭への支援が課題であるが、町では社協とも連携して対応している。「子供の未来を考える会」等の活動にも感謝しており、これからの情報交換しながら応援していきたい。

■**幼児、児童、生徒の読書離れが進んでいるが、その対策は**

■**質問** 大人を含め、子供の読書離れが危惧されている。読書の習慣は、子供の時から始めるべきである。生の教育施設としての事情もあり買い取りは断念した。

■**質問** 平成31年度富士見森のオフィス運営委託業務の内容は。

町長 施設の運営管理であり、現在はパートの方を中心に5名で対応している。具体的には受付から設備の清掃までである。

■**質問** 平成31年度地方創生交付金事業富士見森のオフィス事業運営業務委託の業務内容は。

町長 まず、地域課題解決への取り組みとしては町づくりのワークショップや地元野菜を使った森のマルシェの開催を支援してもらっている。二つ目はオフィス利用者と地域住民や事業者を結び付け新たな仕事の創出を計っている。

■**質問** 森のオフィスにハローワーク機能やシティエプロモーション機能も集中させ、移住定住センターにはできないか。

副町長 斬新な提案であり、検討の余地はあると思う。が、ハローワーク機能を役場内に置く事も特例であり、何ができるかは今後の課題とさせていただきたい。

生涯を支える支えになる読書啓発の取り組みは。町図書館・保小中・家庭が連携し、読書活動を推進している。その一端として町内の小中学生の読書時間は全国・県と比べて長い傾向にある。また約80%の小中学生が読書好きと回答している。読書を愛する富士見の文化風土と、幼少期からの習慣付けの成果である。これからも読書啓発は継続的に取り組んでいく。



の違いは。

■**質問** 森のオフィスにハローワーク機能やシティエプロモーション機能も集中させ、移住定住センターにはできないか。

副町長 斬新な提案であり、検討の余地はあると思う。が、ハローワーク機能を役場内に置く事も特例であり、何ができるかは今後の課題とさせていただきたい。



■**森のオフィス運営・管理について**



名取 久仁春

森のオフィスを  
移住定住センターに

難解であるが、  
可能性を検証する

町長 初期には検討したが、学校側

## 全員協議会での町関係協議事項 ・報告事項【10月～12月】

### 第8回 10月21日

- (1) 令和元年度 町長方針について (町長)
- (2) 幼保無償化について (子ども課)
- (3) 台風19号について (総務課)
- (4) 事業進捗状況について (総務課)
- (5) 一般社団法人富士見町開発公社経営状況について (総務課)
- (6) 住民懇談会日程について (総務課)

### 第9回 11月20日

- (1) 富士見パノラマスキー場工事について (産業課)
- (2) 12月定例会提出予定議案について (副町長)
- (3) 第2期総合戦略について (総務課)
- (4) 事業進捗状況について (総務課)
- (5) 一般社団法人富士見町開発公社経営状況について (総務課)

### 第10回 12月17日

- (1) 富士見パノラマスキー場工事について (産業課)
- (2) 12月定例会提出予定議案について (副町長)
- (3) 第2期総合戦略について (総務課)
- (4) 事業進捗状況について (総務課)
- (5) 一般社団法人富士見町開発公社経営状況について (総務課)

※ ( ) 内は説明者

## 議会だよりモニター 質問に対する回答です。

**Q** 議会の傍聴人数は何名でしたか？

**A** 第504回議会定例会  
傍聴者数 61人

**Q** 議会傍聴の場合、時間、場所、  
入場方法について教えてください？

**A** 議会会期中であれば傍聴席から傍聴できます。入退場も自由です。役場4階に上がってください。左側の一番奥で記帳いただき入場ください。一般質問の日にはホームページ上で掲載された、質問事項がプリントされたものが置かれていますので参考にしてください。

**町民ファーストの  
広報になっっているか？**  
**答** 民間の活力も活かした発信を目指す



牛山 基樹

**情報発信の実情と課題について**  
**質問** 町の広報・情報発信の評価をどう考えるか。  
**町長** より多くの町民に伝わるよう

に努めている。PR媒体ではなく「お知らせ」を充実させたものである。  
**質問** 対話型広報への変革が必要ではないか。またシティープロモーションから上がったきた広報をどうとらえ支援するのか。  
**町長** 責任ある行政としての広報は守りつつも、観光や移住定住の広報は積極的に仕掛ける。町民から上がってきた広報事業は下支えし、必要であれば予算をつけ応援する。  
**SDGsのローカル化、活力を生む新産業の富士見モデルについて**

**質問** 未来に向け、町として取り組むSDGsのローカル化、環境対策は。  
**町長** 地球温暖化防止についての取り組みは、今後地方自治体でも積極的に関わり、未来に準備しなければならぬ。  
**質問** 防災計画に位置付けられた施設に、防災・減災と低酸化を同時に実現する、再生可能エネルギーと蓄電による、自立分散型設備の導入を、有利な補助金を使って検討したかどうか。  
**町長** 着実に足元を固めて運営していくことが大事ではあるが、地方か

ら環境に対して声を上げること大事だと考える。提案された「地域の防災・減災に資する再生可能エネルギー発電と蓄電によるCO<sub>2</sub>削減事業は、個別施設計画に沿って総合的な検証は必要だが、富士見町の特性を考えたら意義は大きく前向きに研究を始めた。



長野県提供  
SDGs推進企業登録  
ロゴマーク